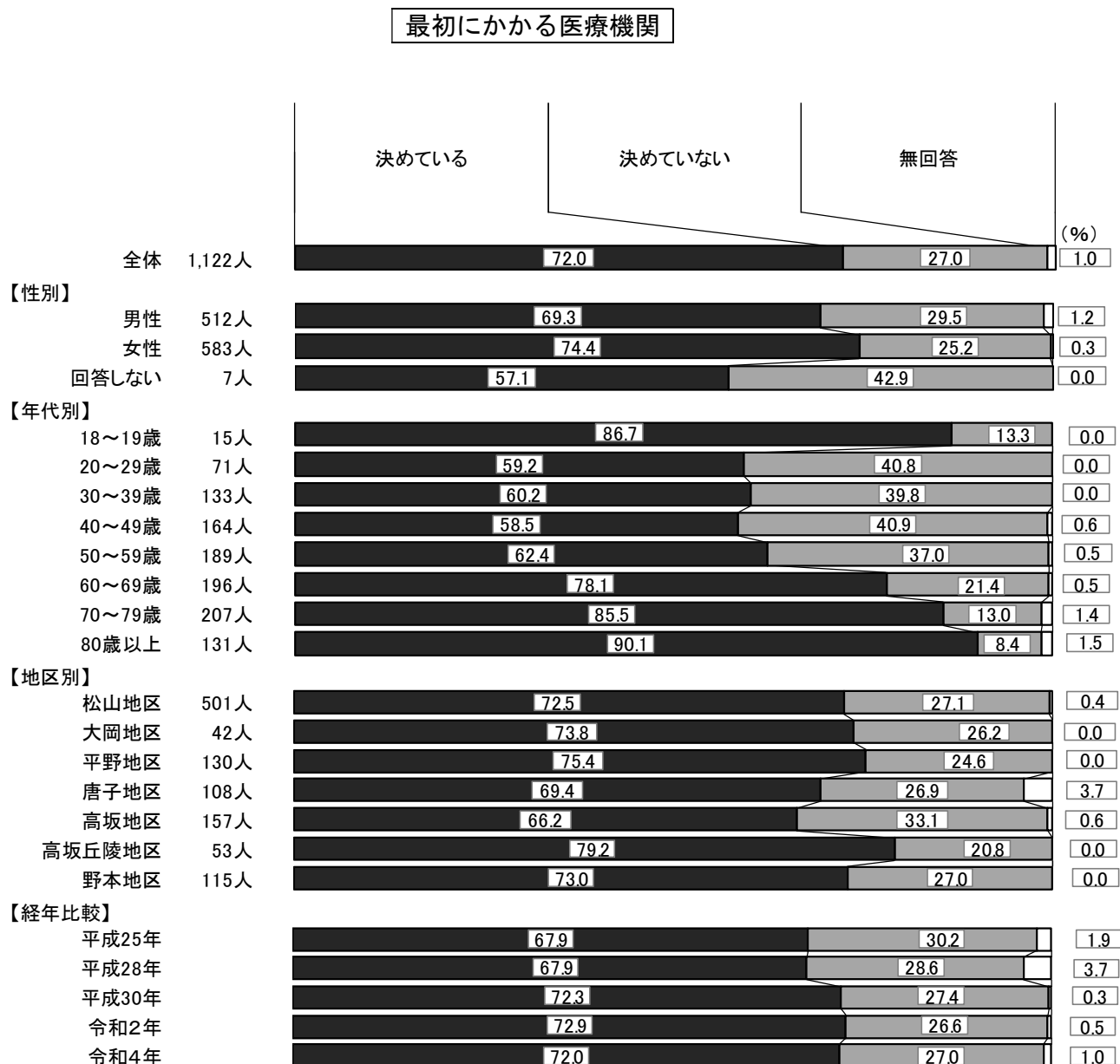


### 3 健康福祉の分野について

#### 3-1 最初にかかる医療機関

◆「決めている」72.0%◆

問6. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「決めている」の割合が72.0%、「決めていない」の割合が27.0%となっています。性別で見ると「決めている」は女性(74.4%)が男性(69.3%)を5.1ポイント上回っています。年代別で見ると「決めている」は18～19歳、70～79歳で8割半ば、80歳以上で9割を超えています。

地区別で見ると「決めている」は高坂丘陵地区で79.2%、平野地区で75.4%と高くなっています。

平成30年度調査以降「決めている」は7割以上となっています。

### 3-2 最初にかかる医療機関の種類

#### ◆「近所の医院・診療所・クリニック」78.6%◆

(問6で「決めている」とお答えの方におたずねします。)

問6-1. それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

最初にかかる医療機関の種類



全体では「近所の医院・診療所・クリニック」の割合が78.6%、「大学病院・公立病院・総合病院等」の割合が17.7%となっています。

年代別で見るといずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が最も高くなっており、18歳～19歳、20～29歳で9割を超えて高くなっています。

地区別で見ると野本地区で「近所の医院・診療所・クリニック」が88.1%と最も高くなっています。

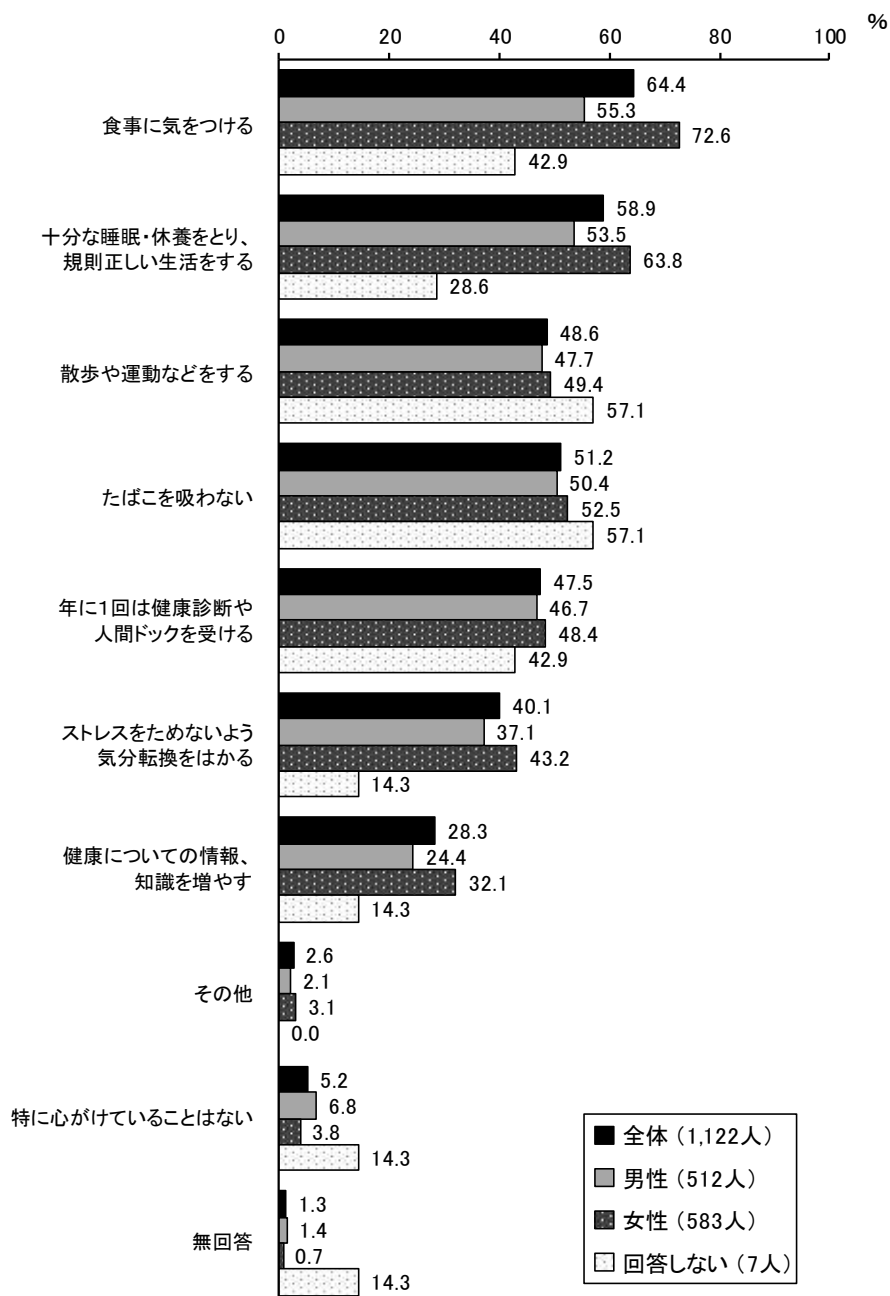
平成25年度調査以降「近所の医院・診療所・クリニック」は増加傾向にありましたが、今回調査ではやや低下しています。

### 3-3 健康づくりのために心がけていること

◆「食事に気をつける」64.4%、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」58.9%◆

問7. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

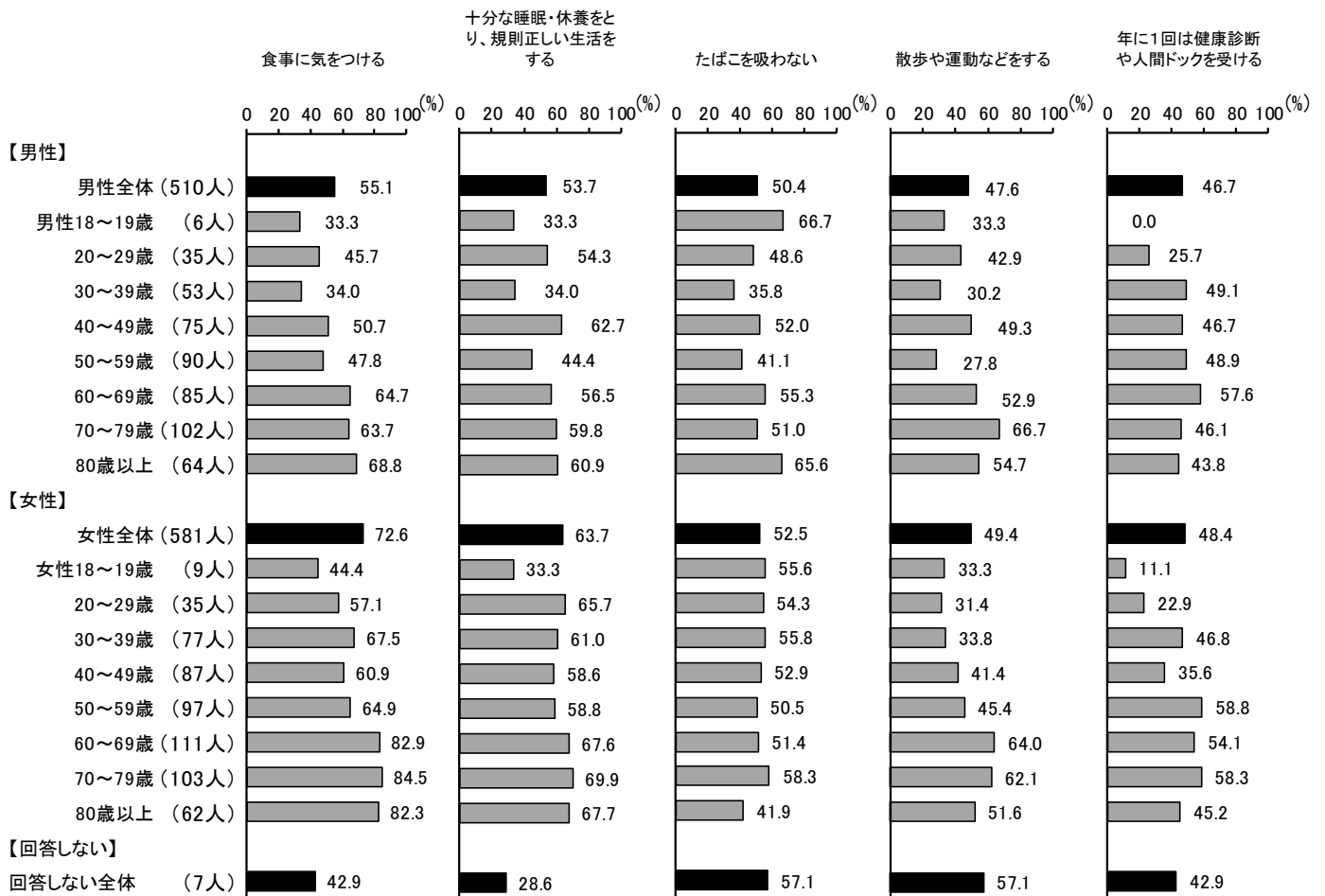
健康づくりのために心がけていること（全体・性別）



全体では「食事に気をつける」の割合が64.4%と最も高く、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」の割合が58.9%、「たばこを吸わない」の割合が51.2%となっています。

性別で見ると「食事に気をつける」は女性（72.6%）が男性（55.3%）を17.3ポイント、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は女性（63.8%）が男性（53.5%）を10.3ポイント、「健康についての情報、知識を増やす」は女性（32.1%）が男性（24.4%）を7.7ポイント上回っています。

## 健康づくりのために心がけていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「食事に気をつける」は男性では80歳以上で68.8%、女性では60歳台以降で8割以上となっています。

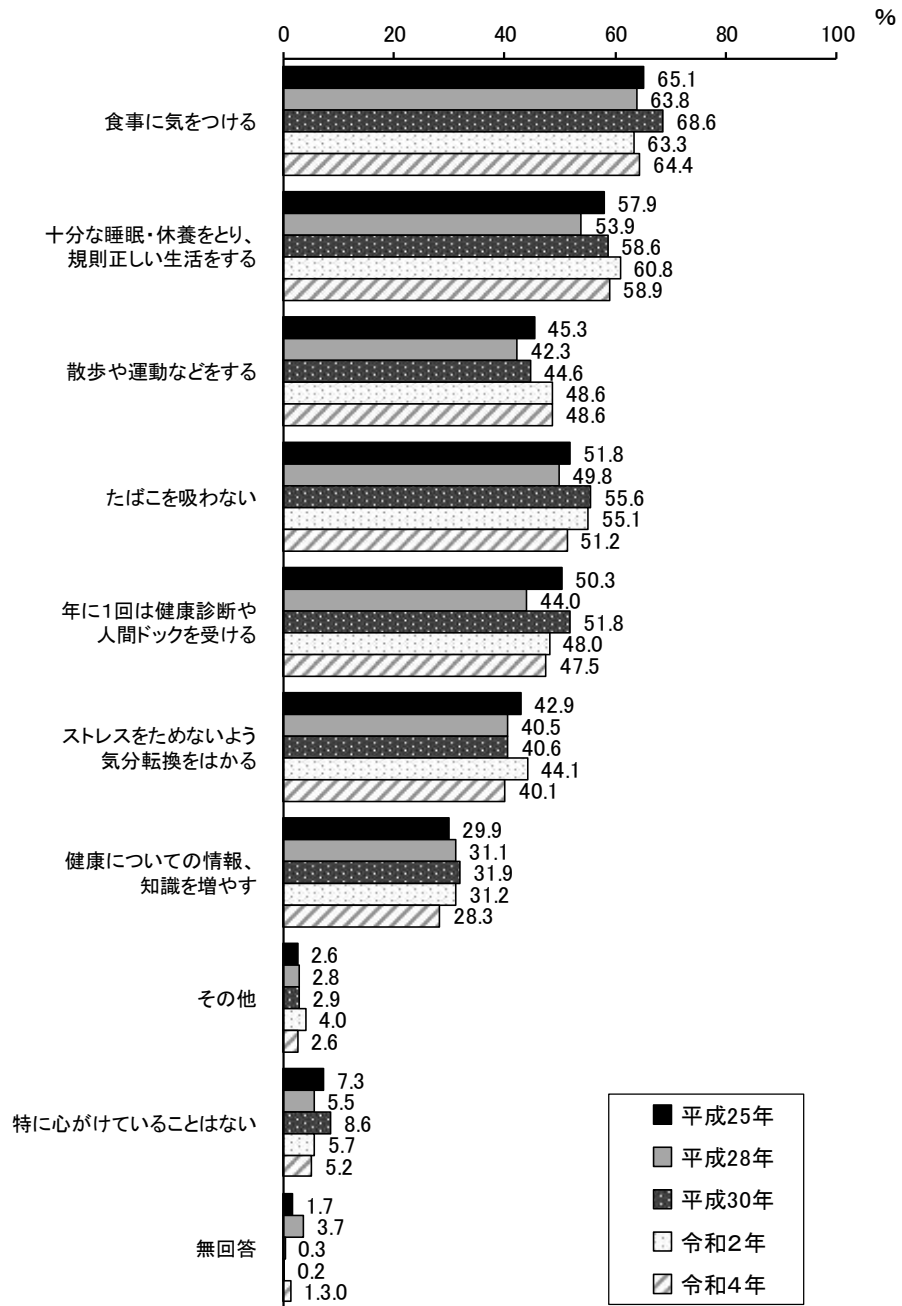
「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は男性・女性ともにほとんどの年代で5割以上となっていますが、男性では18~19歳、30~39歳、女性では18~19歳で3割半ばと他の年代に比べて低くなっています。

「たばこを吸わない」は、男性では80歳以上で65.6%、女性では70~79歳で58.3%と高くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男性の70~79歳で66.7%、女性の60~69歳、70~79歳で6割以上と高くなっています。

「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、男性では60~69歳、女性では50~59歳、70~79歳で6割弱と高くなっています。

### 健康づくりのために心がけていること（経年比較）



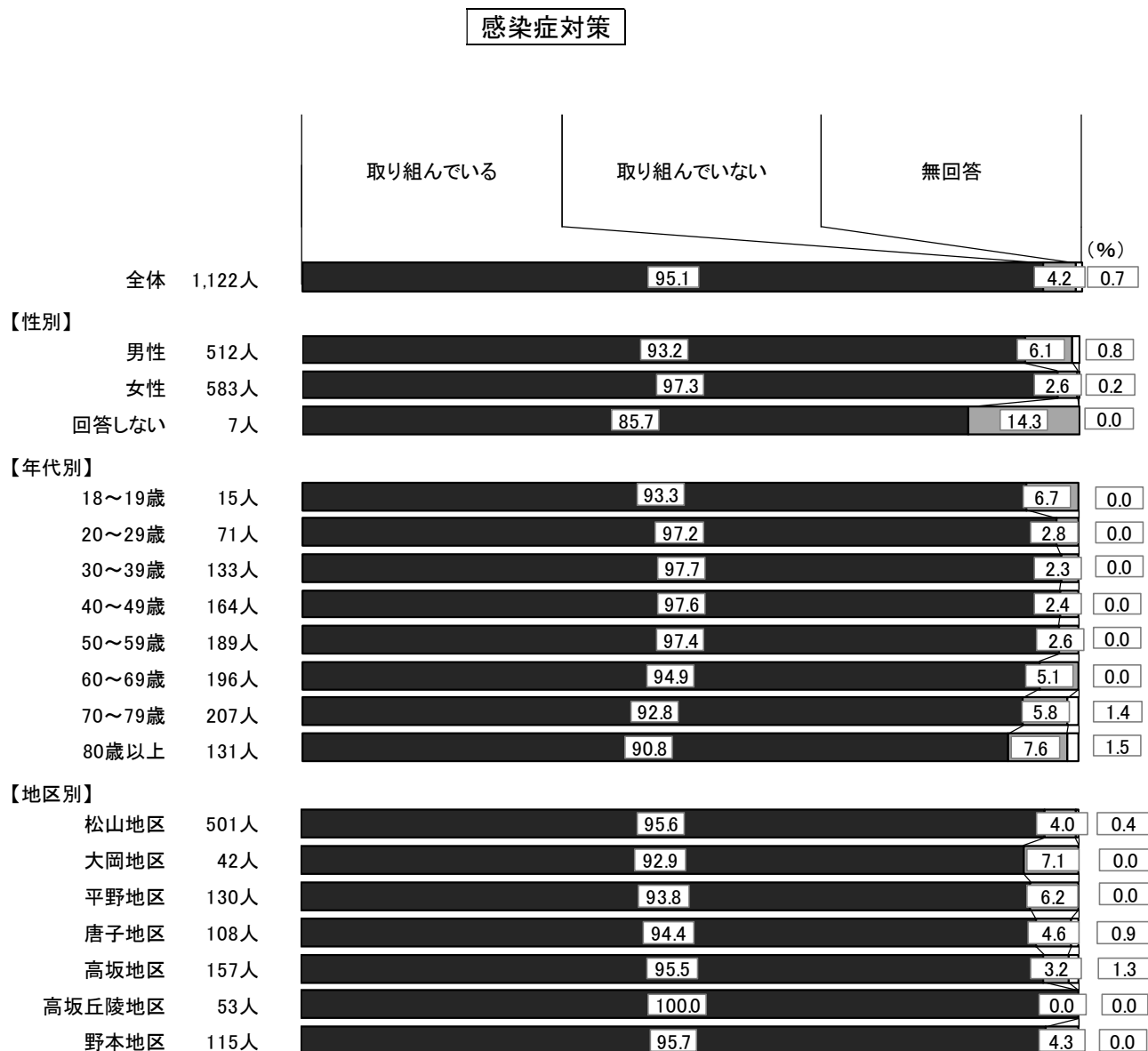
※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度は「年に1回は健康診断を受ける」

令和2年度調査と比較すると、「食事に気をつける」は増加していますが、「たばこを吸わない」「ストレスをためないよう気分転換をはかる」「健康についての情報、知識を増やす」などは、減少しています。

### 3-4 感染症対策

◆ “取り組んでいる” 95.1% ◆

問8. あなたは、感染症対策に取り組んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「取り組んでいる」の割合が95.1%、「取り組んでいない」の割合が4.2%となっています。

性別でみると「取り組んでいる」は女性（97.3%）が男性（93.2%）を4.1ポイント上回っています。

年代別でみると「取り組んでいる」は全ての年代で9割を超えており、特に20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳で高くなっています。

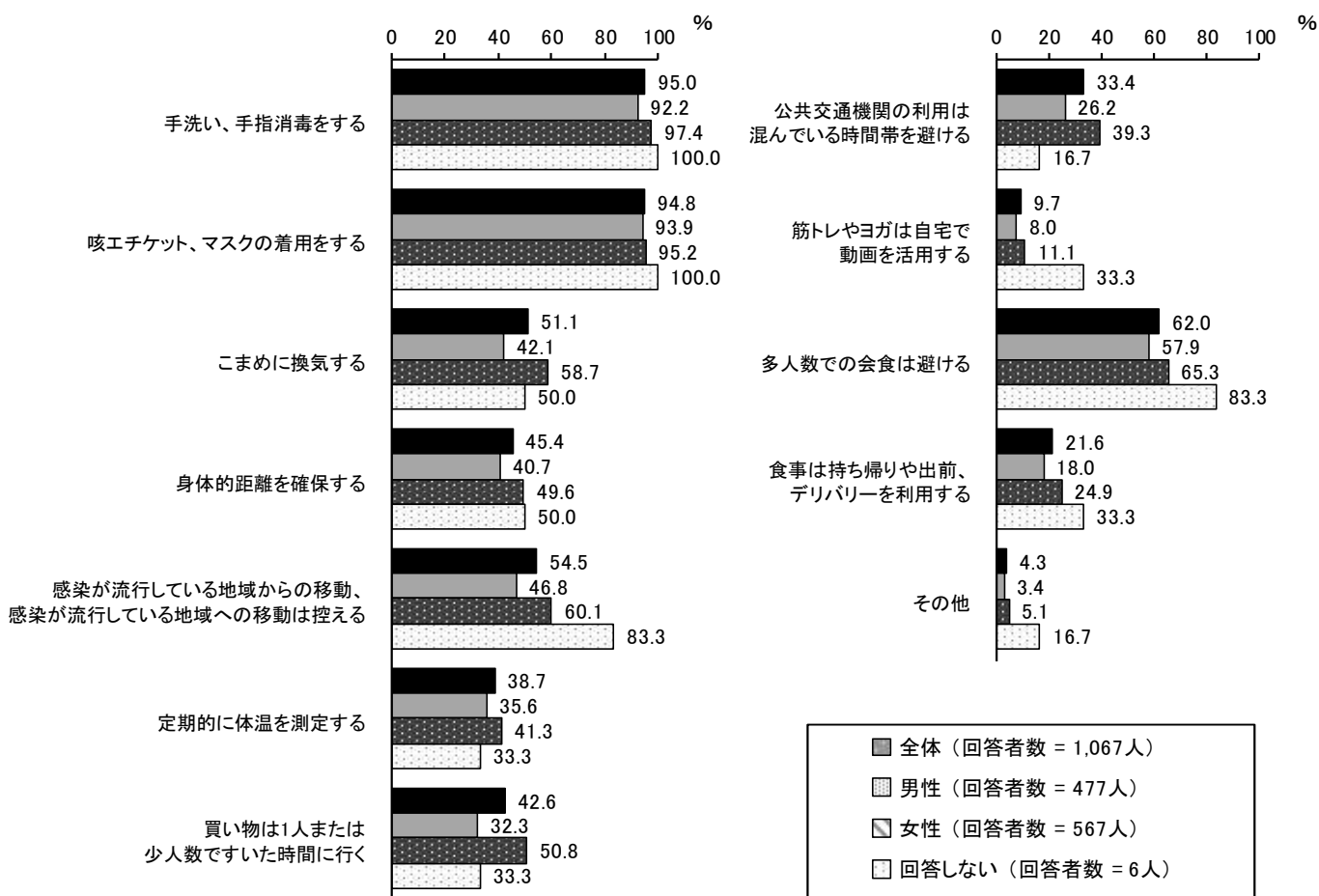
### 3-5 感染症対策のために取り組んでいること

◆「手洗い、手指消毒をする」95.0%、「咳エチケット、マスクの着用をする」94.8%◆

(問8で1とお答えの方におたずねします。)

問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

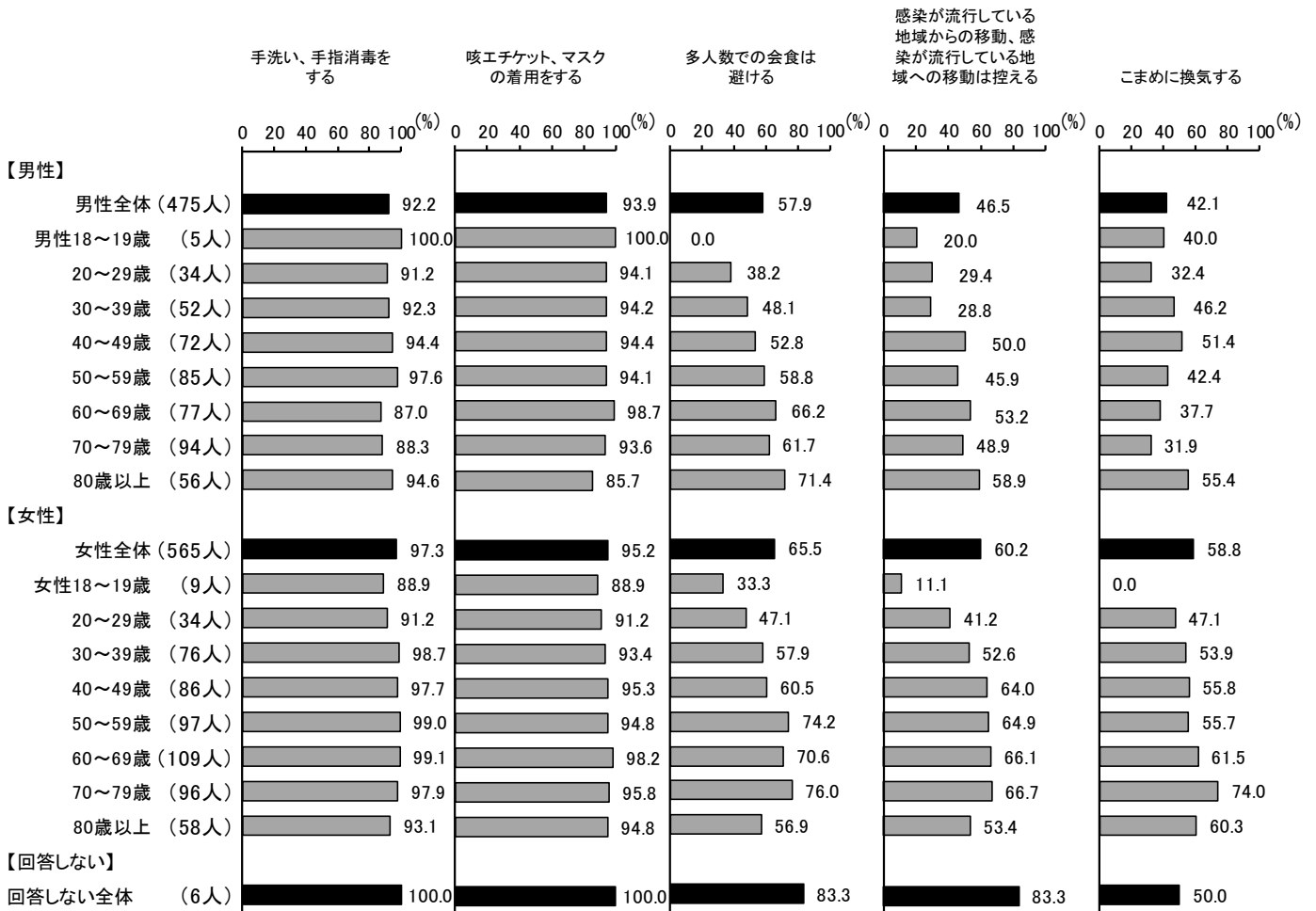
感染症対策のために取り組んでいること（全体・性別）



全体では「手洗い、手指消毒をする」の割合が95.0%と最も高く、次いで「咳エチケット、マスクの着用をする」の割合が94.8%、「多人数での会食は避ける」の割合が62.0%となっています。

性別でみると全般的に女性が男性に比べ高く、特に「買い物は1人または少人数ですいた時間に行く」は女性(50.8%)が男性(32.3%)を18.5ポイント、上回っています。

感染症対策のために取り組んでいること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「手洗い、手指消毒をする」は男性・女性ともに8割以上となっており、特に男性の18歳・19歳では100%となっています。

「咳エチケット、マスクの着用をする」は男性・女性ともに9割以上が大半を占めています。

「多人数での会食は避ける」は男性・女性ともに18～19歳で他の年代に比べて低くなっています。

「感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える」は男性・女性ともに18～19歳で他の年代に比べて低くなっています。

「こまめに換気する」は男性では80歳以上で55.4%、女性では70～79歳で74.0%と最も高くなっています。